

＜第8期＞前橋市社会福祉審議会 第1回高齢者福祉専門分科会(書面開催)

結果概要

令和3年11月

【協議事項】

(1) 専門分科会長の選出について【資料1】

前橋市社会福祉審議会条例第6条第4項に、「専門分科会に属する委員～の互選により定める。」とあることから、事務局より「牛久保委員」を分科会長として提案しました。

(結果) 賛成:11人、 反対:0人、 未回答:3人

よって、委員の過半数の承認を得られたことから、前橋市社会福祉審議会条例第6条第7項が準用する第5条第3項を参考に、「牛久保委員」が分科会長として選出されました。

【報告事項】

(2) 第7期まえばしスマイルプランの総括について

①介護保険事業の状況【資料2】【資料2-1】

第7期まえばしスマイルプランの計画期間に当たる平成30年度から令和2年度までの介護保険事業の状況と、サービス計画値と実績値に乖離があった場合の要因を分析した資料を提示し、ご意見等をいただきました。

ご意見、ご感想	回答
前期高齢者数は推計値と実績値に乖離が無く、後期高齢者数は推計値ほどの増加が見られなかったことについて、考えられる要因は何か。	推計値は第7期計画策定時より少し前の平成27年の厚生労働省人口推計が基礎となっています。確かなことは分かりませんが、令和3年版高齢社会白書で今後も平均寿命の延伸予測等がある一方で、後期高齢者数の実績値に鈍化傾向も見られることから、長期的な視点で見れば後期高齢者数が推計ほど伸びないのではないかとこの見方もできます。
「総合」事業対象者と記載した方が分かり易かったと思う。	ご意見のとおり、今後は総合事業対象者と記載したいと思います。
【資料2-1】の右端にある番号の意味を教えてください。	【資料2】の7頁において計画値と実績値が乖離した要因を挙げていますが、その各番号とリンクさせています。

ご意見、ご感想	回答
<p>要介護 4・5 の重度認定者が想定より増えていないことは喜ばしいと思う。引き続き、認定の適正を注視しつつ、(例えば、認定への異議申立が増えるなどしていないか。)重度化防止の取組を続けて欲しい。</p>	<p>引き続き調査結果の全数点検を行い、要介護認定の適正化に努めるとともに、重度化防止の取組を進めてまいります。</p>
<p>被保険者 1 人あたりの給付月額が増えるというのは、分母の被保険者が増える中でどういう事情によるのか。認定者が積極的に利用しているとプラスに考えられますが、介護保険制度の維持のため、過剰な利用を抑えながらの難しい舵取りになると思う。</p>	<p>前橋市では在宅サービスの利用が多く、特に有料老人ホーム等と併設するデイサービス等の利用が増加していることも要因の一つとして考えられます。ケアプラン点検等の給付適正化事業を通じて、利用者の状態等に応じた適切なサービス提供となっているか、また、自立支援に資する内容となっているかを引き続き点検してまいります。</p>
<p>地域密着型特別養護老人ホームの開設が遅れた理由は何か。</p>	<p>計画どおり平成 30 年度に公募を実施しましたが、応募がなかったため条件を見直し、翌年度の再公募により事業者が決定されたためです。</p>
<p>小規模多機能型居宅介護は在宅生活の限界点を上げるために利用方法を柔軟に選択でき、あらゆるニーズに応えることのできる良いサービスだが、利用するには居宅の介護支援専門員から変更する必要があるため、紹介を控えてしまうケースも多いと思う。</p>	<p>市民(利用者)に対して、継続的にサービス内容等の広報啓発を進めてまいります。</p>
<p>新型コロナウイルス感染症拡大の状況下でも市内の介護保険事業は定着しつつあると感じた。</p>	

②第7期課題への取組と評価【資料3】

第7期まえばしスマイルプランで設定した3つの課題への取組と評価を説明した資料を提示し、意見等をいただきました。

ご意見、ご感想	回答
<p>認知症・介護予防の両サポーターの養成は進んでいるが、活動する場が少ない気がする。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大により活動の場の制約がありました。地域の活動状況を鑑みながら、サポーターの通いの場における活動内容や、地域づくりの一員としての活動の場について検討を進めています。</p>
<p>高齢者虐待の相談件数が目立って増加していますが、相談後はどのような経過で改善に導いていくのか。</p>	<p>虐待の相談・通報の受理後は、虐待対応マニュアルに沿って、複数の地域包括支援センター職員が訪問調査等による事実確認を行っています。その後、可能な限り48時間以内に関係者を招集し、虐待コアメンバー会議を開催していますが、この会議の中で虐待の事実確認や緊急性の判断、安全性の確保、援助方針の決定を行っています。対応後は、援助方針についての評価を行い、目標の見直しを行うなど虐待が解消されるまで対応を継続し、終結に導いています。</p>
<p>新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛を経験し、介護予防の各種教室や活動の参加者数、内容に変化があったか。</p>	<p>いわゆる3密を避けるため会場によっては収容数の上限があったこともあり、従来の半分～2/3程度の参加者数となりました。また、ピンシャン元気体操クラブの活動については、令和3年度より、戸外での活動(ラジオ体操やウォーキングなど)を行う「ピンシャン元気ひろば」を含めることにしました。</p>
<p>高齢者人口が少ない地域へ小規模多機能型居宅介護施設を開設希望する法人は少ないのではないか。また、職員の確保も困難と思われる。</p>	<p>第8期計画では、職員の確保と安定した経営ができるよう、認知症対応型共同生活介護(2ユニット)との併設を条件に公募を行い、事業者の参入を促したいと考えております。</p>
<p>地域包括支援センターを核としたより一層の体制づくりが最も重要だと思う。</p>	<p>ご意見のとおり、地域包括支援センターは地域包括ケアシステムには欠かせないものとして、第8期計画では目標Iの中目標として「地域包括支援センターの機能強化」を掲げています。</p>

(3) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について【資料4】

第8期まえばしスマイルプランで設定した目標Ⅰ～Ⅵに係る令和3年度上半期の取組状況を説明した資料を提示し、意見等をいただきました。

ご意見、ご感想	回答
<p>多くの項目で年度上半期の目標を達成または大部分を達成しており、精力的な取組が行われていると思う。未達成の項目はもちろん達成した項目にも引き続き実績を上げられるようお願いしたい。</p>	<p>上半期での課題も踏まえ、引き続き、各事業で着実に目標を達成できるよう取り組んでまいります。</p>
<p>目標Ⅲ「介護予防・健康づくりの推進」に関する各事業が新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、実績が目標に達しなかった項目があった。この結果により感染症対策を視野に入れた今後の対策が明確になった点もあると思うので、今後の取組に活用して欲しい。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大による対面の集いや繋がりのお機会の減少は、高齢者のフレイルの進行を招いており、自宅や戸外での取組、オンラインなどのICTを活用した取組が必要となっています。そのような事業内容への変更とともに、デジタルデバインド(情報格差)の解消に向けた支援を行っていく予定です。</p>
<p>訪問型サービス A・C、通所型サービス A・C をよく知らない介護支援専門員が多いと思うので、介護支援専門員向けの案内の作成をお願いしたい。</p>	<p>訪問型サービスA・通所型サービスAについては、今年度上半期に、各地域包括支援センターが参加する総合事業部会において、介護支援専門員向けの案内チラシを作成し、令和3年9月30日付けで市内の居宅介護支援事業所に配付しました。また、訪問型サービスC・通所型サービスCについても、各地域包括支援センターへ事業周知のチラシを配付しております。今後もより良い周知方法について検討を続けます。</p>
<p>配食サービスの要件が合致しない申請とは具体的にどの点が合致しないのか。介護支援専門員が誤認しているならば周知して欲しい。</p>	<p>訪問介護等の他の介護保険サービスと提供時間や内容が重複する場合、二世帯住居や敷地内に居住などで親族の見守りが可能であることが見受けられる場合、配食による高齢者の見守りが目的でない見受けられる場合は、介護支援専門員に確認し、サービスの要件に合致しないことを説明しています。</p>
<p>町社協設立モデル事業について、町社協は設立後にどのような活動を担っていくことを想定していますか。</p>	<p>サロンや見守り活動、高齢者の困りごとに対する支援など、生活支援体制整備事業が目指す互いに支え合う地域の構築に繋がる活動を担っていくことを想定しています。</p>

(4) 特別養護老人ホーム入所申込状況調査結果について【資料5】

令和3年5月1日を基準日として群馬県が実施した、県内の特別養護老人ホームに対する入所申込状況についての照会結果を整理し、そのうちの前橋市の状況を説明した資料を提示し、意見等をいただきました。

ご意見、ご感想	回答
「現在の状況」で最も多くを占めた「その他」のうち、上位の施設等について数値で示して欲しかった。	「その他」の上位の施設等の内訳は、有料老人ホーム 84 人、サービス付き高齢者向け住宅 25 人、ショートステイ長期利用 24 人、認知症グループホーム 20 人でした。次回からは上位の施設等の人数も記載します。
施設ごとに申込状況の違いを市では把握しているか。把握していれば周知して欲しい。	毎月、施設ごとに待機者・空き情報を報告してもらい、前橋市のホームページで公開しています。今後も、介護支援専門員や市民への周知を図ってまいります。

(5) 前橋市からの諮問書【資料 6】

本分科会が令和3年10月29日付けで前橋市から諮問を受けたことを報告しました。

ご意見、ご感想	回答
新型コロナウイルス感染拡大により社会情勢が急激に変化したと感じますが、第 9 期計画は市民のライフスタイルの変化に合わせる必要があると思う。	各サービスや事業も「新しい生活様式」に対応していく必要があることから、新しい観点での見直しや工夫を次期計画に反映させていきたいと考えています。

【その他】

(6) 次回(令和4年11月下旬予定)以降のオンラインによる開催について

インターネット回線を利用した遠隔会議システムによるオンライン開催について、ご意見を伺いました。

ご意見
会議時間の短縮につながるようにして欲しい。

以上となります。ご協力ありがとうございました。